

李香蘭

いって

—中嶋権雄

劇団四季の創作ミュージカル「李香蘭」がこの二十三日によいよ松本文化会館で公演されることになった。

日中国交二十周年記念の一環として、この春には中国各地での公演もおこなわれ、絶大な感動を呼んだ作品だけに、是非、一人でも多くの松本市民の皆様に見ていただきたいと思う。

それは、浅利慶太企画・構成・演出のこの作品が、昭和史の時代証言として、松本に関

係の深い川島芳子にも全面的にスポットが当てられているからであり、また、その時代の切なさや痛ましさを再構成として、圧倒的な迫力をもっているからである。しかも、この作品は、日中関係にしばしば見られる薄っぺ



らな臆罪感や、それと裏腹のノスタルジーではなく、日中関係史の原点に思っていた人々の夢や希望や友情、そして挫折感や猜疑心を、政治やイデオロギーのプリズムによらずに、同時代史の総体として、その光と陰の両

面をリアルに照射しているところに、芸術作品としての大きな価値があると思われる。

私は良友・浅利氏の依頼で、この作品の考証や中国語訳の監修などを若干お手伝いし、大連公演にも同行した。

「李香蘭」松本公演に寄せて

「以德報怨」という最後のシーンが、終戦時のことなので中華人民共和国ではなく、中華民国時代のことである点をメモするかもしれない点や「海ゆかば…」の歌詞の中国語訳が、日本軍国主義の歌ではなく、万葉集の歌

として忠実に翻訳されているかなどについて意見述べたのだけれど、それらの点も含めて、中国公演は大成功であった。

このミュージカルの主人公は、野村玲子扮する李香蘭であるが、語りとして終始登場す

部分がカットされてしまった。

松本公演では、これを是非復活してほしいと、浅利氏に強く述べたおいたが、地方公演では音楽部分がテープ化されているので、それは難しいかもしれない。

るのが、保坂知寿扮する川島芳子である。当初の公演では、冒頭から、川島芳子の養父・川島浪速のことが出てきて、芳子が「信州・松本高女に通い…」と歌われていたけれど、のちの公演では、時間の短縮のために、この

松本公演が県内の他の都市より後になったのは、松本公演が「李香蘭」の日本各地での公演の総仕上げの意味があるからでありそれだけに松本公演の成功を私も切に祈っている。(東京外語大教授 東京都)